

現代法ガク ブック

東京経済大学 現代法学部



現代法学部ディプロマ・ポリシー

現代法学部は、今日の法化社会を生きる者に不可欠な法と政策を深く学び、「進一層」のチャレンジ精神とグローバルな視点をもって社会に貢献できる人材を育成します。

そのために次のような能力を身に付けた人に学士（現代法学）の学位を授与します。

（DP 1）幅広い教養

多様な文化、歴史及び自然に関する幅広い教養と外国語を身に付けて、持続可能な地球社会の形成に主体的に寄与できる能力

（DP 2）専門知識

現実の社会問題に触れながら、法と政策に関する専門知識を適切に修得し、社会を多角的に考えることができる能力

（DP 3）専門知識の活用力

法と政策に関する専門知識と思考方法を活かし、社会における諸問題を発見し、課題の本質を考察して解決に導くことができる実践的能力

（DP 4）総合的な判断力と行動力

問題解決に必須の論理的思考とコミュニケーション力に裏付けられた総合的な判断力と行動力

contents

「現代法ガクブック」の目的	P1
学びのポイント! ①	P2
学びのポイント! ②	P3
学びのポイント! ③	P4
学びのポイント! ④	P5
現代法学部6つのプログラム/表の見方	P6
綜合法プログラム	P7
公共政策プログラム	P8
ビジネス法プログラム	P9
消費者法プログラム	P10
環境法プログラム	P11
福祉法プログラム	P12
現代法学部2つのアドバンスプログラム	P13
法プロフェッショナルプログラム	P14
公務員志望者支援プログラム	P15
振り返りシート/1年	P16~19
振り返りシート/2年	P20~23
振り返りシート/3年	P24~25
振り返りシート/4年	P26~27
卒業要件表	p28



「現代法ガクブック」の目的 「現代法ガクブック」の目的は2つあります。

1つ目は、現代法学部に入学した皆さんがこれから「プログラム」に所属して学修を進めていくために、学習の進捗を書き込み、次年度の学びについて計画を立て、それを「学習相談会」で教員に相談する、主体的な学びをサポートする目的です。

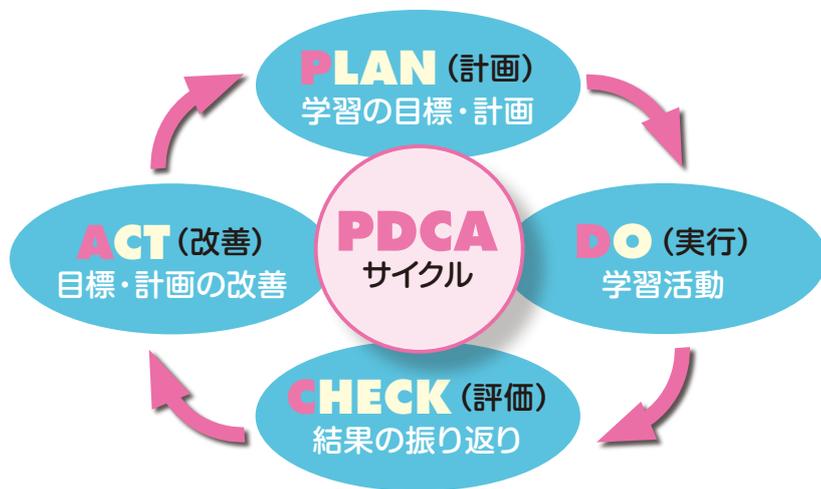
現代法学部のカリキュラムは、各自が、プログラムで指定された科目を自由に選び、学んでいくことができますが、やみくもに学んでも力が付きません。

プログラムで指定されている科目の中にも「繋がり」があります。この冊子に記入し、次年度の時間割(案)を作成し、「学習相談会」に参加してください。参加した際は、「自分はこの分野に興味があるんだ」「こういった進路を考えているんだ」などの思いを伝えてください。一人一人のオーダーメイド型「履修モデル」を作成しましょう。

2つ目は、学期末、年度末に「振り返り」、「目標」を記入するための、「ラーニング・ポートフォリオ」機能を果たします。「ラーニング・ポートフォリオ」では、指定された期間ごとに、「自らの学修」を振り返り、記入することで、達成、反省を把握すると同時に、今後の課題も見えてきます。必ず毎回記入して、学務課にコピーを提出してください。

「達成度」は単に試験や成績だけでは測れません。試験で測ることができるのは「知識」の習得であり、「学ぶ過程」や「取り組み方」を通して実質的な学びが見えてきます。この冊子を通して「今」と「未来」を考えます。

記入した「ラーニング・ポートフォリオ」を通じて、自分の成長を実感し、やる気を持続することができます。また、就職活動を始める時に行う「自己分析」もスムーズに行うことができます。



ラーニング・ポートフォリオの記載内容

- 将来、何をしたいのか
- 大学で、何をしたいのか
- そのために今、何をやるのか
- どのようにやるのか
- どのようにやったのか
- やってみてどうだったか
- こうやれば… (アドバイス)

◆ 記入時期・提出期間

期間	記入時期	提出期間
入学～1年1期	1年8月～9月	9月中旬～末日
～1年2期	1年2月～3月	3月下旬～4月10日
～2年1期	2年8月～9月	9月中旬～末日
～2年2期	2年2月～3月	3月下旬～4月10日
3年(1年間)	3年2月～3月	3月下旬～4月10日
4年(1年間)	4年2月～3月	3月上旬～卒業式

提出先→学務課(6号館1階)



学びのポイント! ①

「演習科目(ゼミ)」は
1年生~4年生まで続けて履修しましょう

ゼミは
大学生生活の
柱です

1年次1期 履修必修

大学入門

1年次2期 履修必修

社会・法学入門

2年次1期 指定履修必修

社会・法学セミナー

2年次1期 指定履修必修

基礎演習 I

2年次2期 指定履修必修

基礎演習 II

3年次通年 選考あり

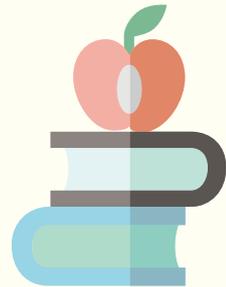
演習

4年次通年 選考あり

演習

4年次通年 選考あり

演習・卒業研究



卒業



学びのポイント! ②

入門科目、入門演習は、必ず単位修得しましょう

入門科目、入門演習は、これからの4年間の学びを左右する重要な科目ですので、履修必修科目（または指定履修必修科目）に指定されています。また、**入門演習から2単位、入門科目から4単位を取得しないと、2年次の「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」を履修することができません。**このような位置づけの科目ですから、必ず単位取得するよう心がけてください。

1年1期

入門演習: **大学入門** (大学で学ぶための基礎)

入門科目: **リーガルリテラシー入門** (法学を学ぶための基礎)

入門科目: **憲法基礎** (日本国憲法)

1年2期

入門演習: **社会・法学入門**

(社会の様々な問題を通して問題発見力、解決力を涵養する)

入門科目: **民事法基礎**

入門科目: **刑事法基礎**

2年1期

基礎演習Ⅰ (演習の入門)

社会・法学セミナー

(1年次に演習を2単位取得することが出来なかった学生が履修)

各プログラム入門科目

(選んだプログラムにより、入門科目が違います)

2年2期

基礎演習Ⅱ

(演習の入門、必ず基礎演習Ⅰとは違う先生を履修する)

各プログラム入門科目 (ビジネス法プログラム選択者のみ)



学びのポイント! ③

6つの「プログラム」のどれかに所属し、各自で学修を進めましょう

この冊子には、各プログラムで指定されている、具体的な科目が示されています。自分が選んだプログラムの、指定科目を履修することで、よりその分野について力を付けることができます。この冊子に大いに書き込んで活用してください。

オススメ!

履修モデル (全体)

● 総合教育科目の単位を修得する

※一部「プログラム科目」に指定されている科目あり

計36単位

● 入門科目の単位を修得する

リーガルリテラシー入門 4単位

憲法基礎 (日本国憲法) 2単位

民法法基礎 2単位

刑事法基礎 2単位

キャリアデザイン基礎 2単位

計12単位

● 演習科目の単位を修得する

大学入門 2単位

社会・法学入門 2単位

基礎演習 I / II 4単位

演習 4単位

演習+卒業研究 8単位

計20単位

● 各プログラム科目の単位を修得する

各プログラム入門科目 2単位 (ビジネス法は4単位)

他現代法学部専門科目 42単位 (ビジネス法は40単位)

計44単位

● 自由認定枠の単位を修得する

・総合教育科目

・プログラム科目

・キャリア科目

・アドバンスプログラム科目 等から

計12単位

$$36+12+20+44+12=124$$

現代法学部卒業要件単位=

124単位 をクリア

※1年間に最大48単位履修登録を行うことができます。

※半期に最大28単位履修登録を行うことができます。

※例：1期に28単位登録した場合は2期は最大20単位まで。





学びのポイント! 4

学期、学年ごとに

「ラーニング・ポートフォリオ(LP)」を作成しましょう

1年次1期、1年次2期、2年次1期、2年次2期、3年次終了、4年次修了時に、16ページ以降の「ラーニング・ポートフォリオ(LP)」に記入してください。記入済みのLPをコピーし、指定された期日までに、必ず学務課に提出してください。

1年1期の振り返りシート(4月から9月まで)

記入時期 1年次1期、8月~9月中旬

●コピーを学務課に提出すること
(9月中旬から9月30日まで ※土日祝日を除く)

学籍番号

17L1999

氏名

現法花子

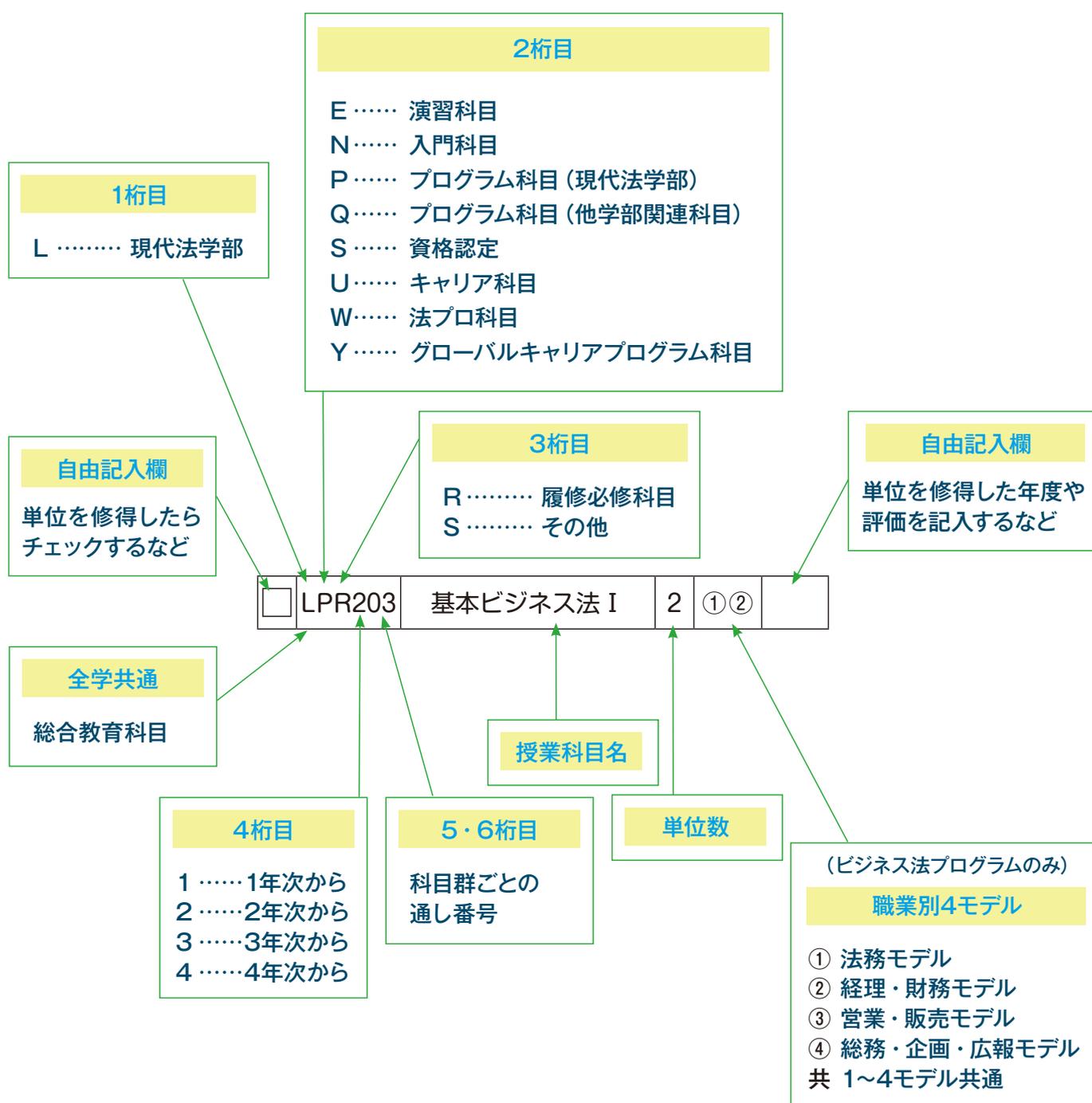
忘れないうちに記入しておきましょう

修得単位	総合教育科目 (12) 単位 現代法学部科目 (10) 単位 計 (22) 単位 (GPA: 2.94)
興味を持った科目	1「憲法基礎(日本国憲法)」 理由: 六法の読み方から学ぶことができたため、法学を初めて学んだ自分にも分かりやすかったです。2期に向けて意欲が湧いてきた。 2「コンピュータ・リテラシー入門」 理由: word, excel, powerpointは、社会に出た時にも必要かもしれないため、授業を受け、以前よりも使いこなせるようになった。 3「英語コミュニケーションI」 理由: 英語の「新しい勉強方法」を学ぶことができた。 特に映画「キューティブライト」を使った勉強方法が凄く良かった。
「大学入門」の内容、身につけたこと、足りないこと	(教材、テーマ、レポートが何回あった、どんな内容だった、どのような発表をしたなどを通じて振り返りましょう)
担当	先生が指定した図書『大学生のための「社会常識」講座』を事前に読んで、理解したうえで授業に臨む。また、グループごとにレジュメを作成し、発表を行った。「レジュメの作成方法」「自分の意見を述べること」「議論すること」を学ぶことができ、2年次から始まるゼミへの準備ができたと感じた。また、特に「議論すること」が苦手であることを発見した。これは将来に向けた自分の課題に感じる。
西下 先生	
「リーガルリテラシー入門」の内容、身につけたこと、足りないこと	(どのようなゲストが来た、課題レポートがあったなどを通じて振り返りましょう) 児童相談所の方や、本学部OBで司法書士として活躍されている方がゲストとして来た。児童相談所の方に来た時は、日本の子供達が置かれている状況について詳しく説明してくださった。とても印象深かった。この授業は、今日本で起きている問題を極力、比較的理解しやすかったです。これから世の中で起きている問題を、自分で新聞などで通じて学び、色々な意見や考えを持つことができる力を培ったと思います。

現代法学部 6つのプログラム

現代法学部は、6つのプログラムを設置しています。皆さんは2年次からプログラムに所属し、プログラムの履修モデルに沿って学習を進めていきます。各プログラムで指定された科目、履修モデルについては、各プログラムの頁を参照してください。

表の見方



総合法 プログラム

※法プロフェッショナルプログラムを目指す学生は、総合法、消費者法プログラムの教員の演習を薦めます。

教員

[主な科目]

大出 良知 教授	-----	[刑事手続と法a/b]
加藤 一彦 教授	-----	[憲法(日本国憲法)]
金崎 剛志 専任講師	-----	[行政救済法a/b]
木本 洋子 教授	-----	[民事手続と法a/b]
久保 健助 教授	-----	[憲法(日本国憲法)]
古賀 絢子 専任講師	-----	[民法(家族法)]
中川 純 教授	-----	[労働法a/b]
中村 悠人 准教授	-----	[刑法a/b]
野村 武司 教授	-----	[現代行政法a/b]
村 千鶴子 教授	-----	[民法(契約法) a/b]
村本 武志 教授	-----	[民法(不正行為法)]

身につける力

プログラム入門科目

法的問題のありかを把握し、その原因や背景を探り、発表し、議論、論文にまとめるための基礎的な力を身につける。

ある事象が法的問題となるかどうかを判断するための基本的な法律の仕組みや知識を理解し、それをケースに当てはめ、バランスの取れた問題解決力を身につける。

2年次から

<input type="checkbox"/>	LPR201	裁判傍聴演習	2	
<input type="checkbox"/>	LPS101	日本近現代法史 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS102	日本近現代法史 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS103	法社会学基礎 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS104	法社会学基礎 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS231	市場の経済学 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS232	市場の経済学 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS205	民法(契約法) a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS206	民法(契約法) b	2	
<input type="checkbox"/>	LPR205	消費者問題と法	2	
<input type="checkbox"/>	LPS208	民法(物権法)	2	
<input type="checkbox"/>	LPS209	民法(家族法)	2	
<input type="checkbox"/>	LPS229	企業取引法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS230	企業取引法 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS207	民法(不法行為法)	2	
<input type="checkbox"/>	LPS235	商品安全と法	2	
<input type="checkbox"/>	LPS210	刑法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS211	刑法 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS202	憲法(統治機構)	2	
<input type="checkbox"/>	LPS201	憲法(人権)	2	

3年次から

<input type="checkbox"/>	LPS223	国際社会と法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS224	国際社会と法 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS306	外国の法 I	2	
<input type="checkbox"/>	LPS307	外国の法 II	2	
<input type="checkbox"/>	LPS308	外国の法 III	2	
<input type="checkbox"/>	LPS319	投資サービスと法	2	
<input type="checkbox"/>	LPS320	労働法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS321	労働法 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS233	基本消費者取引法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS234	基本消費者取引法 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS316	競争と法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS317	競争と法 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS326	広告・表示と法	2	
<input type="checkbox"/>	LPS301	民法(債権担保法)	2	
<input type="checkbox"/>	LPS227	会社法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS228	会社法 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS314	商取引と法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS315	商取引と法 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPR206	環境問題と法	2	
<input type="checkbox"/>	LPS238	被害救済と法	2	
<input type="checkbox"/>	LPS302	民事手続と法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS303	民事手続と法 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS212	少年法	2	
<input type="checkbox"/>	LPS304	刑事手続と法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS305	刑事手続と法 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS213	現代の行政 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS214	現代の行政 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS215	現代行政法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS216	現代行政法 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS217	現代政治学 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS218	現代政治学 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS309	行政救済法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS310	行政救済法 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS311	地方自治と法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS312	地方自治と法 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPR207	福祉問題と法	2	
<input type="checkbox"/>	LPS203	情報と法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS204	情報と法 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS244	高齢者福祉と法(制度政策)	2	
<input type="checkbox"/>	LPS245	高齢者福祉と法(サービス)	2	

■総合法プログラム

憲法、民・商法、刑法や訴訟法など基本的な法律科目群を提供するプログラムである。法を本格的に学ぶことで、法的思考を身につけ、法的紛争を解決する力を身につけることを目的とする。権利や自由、それが他者や社会とぶつかりあったときの解決方法、社会生活を営む上でのトラブルの予防や対処、生じた損害を回復するための基本的なルール、法で禁止や要請されているものと不正行為や犯罪等、扱う問題は多岐にわたる。法科大学院への進学、司法書士、行政書士、裁判所事務官など法律専門職を目指す学生にとどまらず、公務員や企業を目指す学生にも対応している。

公共政策 プログラム

※公務員志望者支援プログラムを目指す学生は、公共政策、綜合法、消費者法、環境法、福祉法の教員のゼミを薦めます。

教員

[主な科目]

金崎 剛志 准教授……………[行政救済法a/b]
野村 武司 教授……………[現代行政法a/b]
羽貝 正美 教授……………[現代の行政a/b]
藤原 修 教授……………[国際関係論a/b]

<全学共通教育センター所属>

渡辺 龍也 教授……………[国際開発協力a/b]

身につける力

1 年次から

2 年次から

3 年次から

プログラム 入門科目

<input type="checkbox"/>	LPR202	公共政策論	2	
--------------------------	--------	-------	---	--

公共政策分野の基本的な課題と、それらが関係する社会の現実について調べ、理解し、いかなる課題解決の手段があるのか、必要な公共政策を考える力を身につける。

<input type="checkbox"/>	全学共通	政治学 a	2	
<input type="checkbox"/>	全学共通	政治学 b	2	
<input type="checkbox"/>	全学共通	平和学 a	2	
<input type="checkbox"/>	全学共通	平和学 b	2	
<input type="checkbox"/>	全学共通	都市と市民 a	2	
<input type="checkbox"/>	全学共通	都市と市民 b	2	
<input type="checkbox"/>	全学共通	福祉論 a	2	
<input type="checkbox"/>	全学共通	福祉論 b	2	
<input type="checkbox"/>	全学共通	NPO論 a	2	
<input type="checkbox"/>	全学共通	NPO論 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS107	現代社会論 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS108	現代社会論 b	2	

<input type="checkbox"/>	LPS219	国際学 I	2	
<input type="checkbox"/>	LPS220	国際学 II	2	
<input type="checkbox"/>	LPS221	国際関係論 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS222	国際関係論 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS225	国際開発協力 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS226	国際開発協力 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS201	憲法 (人権)	2	
<input type="checkbox"/>	LPS202	憲法 (統治機構)	2	
<input type="checkbox"/>	LPS213	現代の行政 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS214	現代の行政 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS215	現代行政法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS216	現代行政法 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS217	現代政治学 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS218	現代政治学 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS236	都市環境論 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS237	都市環境論 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS205	民法 (契約法) a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS206	民法 (契約法) b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS209	民法 (家族法)	2	
<input type="checkbox"/>	LPS210	刑法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS211	刑法 b	2	

<input type="checkbox"/>	LPS223	国際社会と法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS224	国際社会と法 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPR205	消費者問題と法	2	
<input type="checkbox"/>	LPR206	環境問題と法	2	
<input type="checkbox"/>	LPR207	福祉問題と法	2	
<input type="checkbox"/>	LPS203	情報と法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS204	情報と法 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS239	環境規制と法	2	
<input type="checkbox"/>	LPS240	社会保障と法	2	
<input type="checkbox"/>	LPS241	児童福祉と法	2	
<input type="checkbox"/>	LPS242	障がい児・者と法	2	
<input type="checkbox"/>	LPS243	貧困と法	2	
<input type="checkbox"/>	LPS244	高齢者福祉と法 (制度・政策)	2	
<input type="checkbox"/>	LPS245	高齢者福祉と法 (サービス)	2	
<input type="checkbox"/>	LQS317	コミュニティ福祉論 a	2	
<input type="checkbox"/>	LQS318	コミュニティ福祉論 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS309	行政救済法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS310	行政救済法 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS311	地方自治と法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS312	地方自治と法 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS328	国際環境法	2	
<input type="checkbox"/>	LQS303	地方財政論 a	2	
<input type="checkbox"/>	LQS304	地方財政論 b	2	
<input type="checkbox"/>	LQS305	現代の財政 a	2	
<input type="checkbox"/>	LQS306	現代の財政 b	2	
<input type="checkbox"/>	LQS317	コミュニティ福祉論 a	2	
<input type="checkbox"/>	LQS318	コミュニティ福祉論 b	2	

■公共政策プログラム

人、モノ、カネ、情報がグローバルに行き交う今日、それに即した国内外の新たな価値観とルールが求められている。公共政策とは、そうした価値観やルールを個々の現実的課題への対応として具体化したものである。その具体化には国際機関、国家、自治体はもとより、企業、NGO・NPO、個人という民間レベルの多様な主体も深く関わっている。公共政策プログラムは、こうした視点を基礎に、国際機関から個人にいたるまでの様々な主体を現代公共政策の担い手にとらえ、その合理的な形成・執行・評価に関わる諸問題を幅広く考えるための基本的知識・情報を習得し、理解を深め、公共政策を考える思考方法を身につけることを目的とする。

ビジネス法 プログラム

教員

[主な科目]

和泉澤 衛 教授……………[競争と法a/b]

桜井 健夫 教授……………[商取引と法a/b]

細川 和憲 教授……………[租税法(企業課税) a/b]

ビジネス法プログラム
独自の資格取得支援!

※「ビジネス法プログラム」を登録した学生は、CSCで開講されている「ビジネス実務法務検定講座2, 3級」の受講料を免除します。

身につける力

1年次から

2年次から

3年次から

プログラム
入門科目

ビジネス分野の基本的な法と、それら
法が関係する社会の現実について知り、
理解し、調べ、考える力を身につける。

ビジネス分野に関わる様々な法と実体
経済の基礎知識を学び、それらが関係す
る社会の現実について知り、理解し、調
べ、考える力を身につける。

履修モデルとして、
職種別4モデルを
提示する。

共：モデル共通

- ① 法務
- ② 経理・財務
- ③ 営業・販売
- ④ 総務・企画・広報

<input type="checkbox"/>	LPR203	基本ビジネス法 I	2	共	
<input type="checkbox"/>	LPR204	基本ビジネス法 II	2	共	

<input type="checkbox"/>	LPS201	憲法(人権)	2	共	
<input type="checkbox"/>	LPS202	憲法(統治機構)	2	共	
<input type="checkbox"/>	LPS205	民法(契約法) a	2	共	
<input type="checkbox"/>	LPS206	民法(契約法) b	2	共	
<input type="checkbox"/>	LPS207	民法(不法行為法)	2	共	
<input type="checkbox"/>	LPS208	民法(物権法)	2	共	
<input type="checkbox"/>	LPS227	会社法 a	2	共	
<input type="checkbox"/>	LPS228	会社法 b	2	共	

<input type="checkbox"/>	LUR201	キャリアデザイン基礎	2	共	
--------------------------	--------	------------	---	---	--

<input type="checkbox"/>	LPS301	民法(債権担保法)	2	共	
<input type="checkbox"/>	LPS316	競争と法 a	2	共	
<input type="checkbox"/>	LPS317	競争と法 b	2	共	
<input type="checkbox"/>	LPS318	知的財産法(特許法・著作権法)	2	共	

<input type="checkbox"/>	LUS302	キャリア講座 I	2	共	
<input type="checkbox"/>	LUS303	キャリア講座 II	2	共	

<input type="checkbox"/>	LQS101	簿記原理 a	2	共	
<input type="checkbox"/>	LQS102	簿記原理 b	2	共	
<input type="checkbox"/>	全学共通	経済学	4	共	
<input type="checkbox"/>	全学共通	経営学 a	2	共	
<input type="checkbox"/>	全学共通	経営学 b	2	共	

<input type="checkbox"/>	LPS223	国際社会と法 a	2	④	
<input type="checkbox"/>	LPS224	国際社会と法 b	2	④	
<input type="checkbox"/>	LPS229	企業取引法 a	2	①②③	
<input type="checkbox"/>	LPS230	企業取引法 b	2	①②③	
<input type="checkbox"/>	LPS231	市場の経済学 a	2	③	
<input type="checkbox"/>	LPS232	市場の経済学 b	2	③	
<input type="checkbox"/>	LPS233	基本消費者取引法 a	2	①③	
<input type="checkbox"/>	LPS234	基本消費者取引法 b	2	①③	
<input type="checkbox"/>	LPS235	商品安全と法	2	①③④	
<input type="checkbox"/>	LQS201	会計学原理 a	2	②	
<input type="checkbox"/>	LQS202	会計学原理 b	2	②	
<input type="checkbox"/>	LQS203	企業論 a	2	③	
<input type="checkbox"/>	LQS204	企業論 b	2	③	
<input type="checkbox"/>	LQS205	流通政策論	2	③④	
<input type="checkbox"/>	LQS206	広告論 a	2	④	
<input type="checkbox"/>	LQS207	広告論 b	2	④	
<input type="checkbox"/>	LQS208	リスクマネジメント論 a	2	①④	
<input type="checkbox"/>	LQS209	リスクマネジメント論 b	2	①④	
<input type="checkbox"/>	LQS210	広報論	2	④	
<input type="checkbox"/>	LQS211	企業コミュニケーション基礎	2	④	
<input type="checkbox"/>	LQS212	ソーシャルメディア論	2	④	

<input type="checkbox"/>	LPS302	民事手続と法 a	2	①	
<input type="checkbox"/>	LPS303	民事手続と法 b	2	①	
<input type="checkbox"/>	LPS313	法と経済	2	①④	
<input type="checkbox"/>	LPS314	商取引と法 a	2	①②③	
<input type="checkbox"/>	LPS315	商取引と法 b	2	①②③	
<input type="checkbox"/>	LPS319	投資サービスと法	2	②③	
<input type="checkbox"/>	LPS320	労働法 a	2	①④	
<input type="checkbox"/>	LPS321	労働法 b	2	①④	
<input type="checkbox"/>	LPS322	租税法(個人課税) a	2	②	
<input type="checkbox"/>	LPS323	租税法(個人課税) b	2	②	
<input type="checkbox"/>	LPS324	租税法(企業課税) a	2	①②	
<input type="checkbox"/>	LPS325	租税法(企業課税) b	2	①②	
<input type="checkbox"/>	LPS326	広告・表示と法	2	①③④	
<input type="checkbox"/>	LPS327	消費者信用と法	2	③	
<input type="checkbox"/>	LPS329	企業の環境管理	2	④	
<input type="checkbox"/>	LQS301	国際貿易論 a	2	④	
<input type="checkbox"/>	LQS302	国際貿易論 b	2	④	
<input type="checkbox"/>	LQS307	財務会計論 a	2	②	
<input type="checkbox"/>	LQS308	財務会計論 b	2	②	

■ビジネス法プログラム

ビジネス法分野における様々な事象や問題について幅広く検討し、これにかかわる経済活動・企業組織・取引ルールをはじめとした各種の法制度等を学び理解を深め、法化社会においてビジネスパーソンに求められる法的素養・知識や法的解決能力を身につける。具体的には、ビジネスに関連する基本的な法律、実体経済の基礎知識、それらが関係する社会の現実などの科目を配置し、社会人としてのリーガルマインドの涵養を図るとともに、高等教育(大学)に対する社会的要請にもこたえていく。

消費者法 プログラム

教員

[主な科目]

村 千鶴子 教授	-----	[基本消費者取引法a/b]
村本 武志 教授	-----	[消費者問題と法]
桜井 健夫 教授	-----	[投資サービスと法]
永下 泰之 准教授	-----	[商品安全と法]

※公務員志望者支援プログラムを目指す学生は、公共政策、綜合法、消費者法、環境法、福祉法の教員のゼミを薦めます。

身につける力

1年次から

2年次から

3年次から

プログラム 入門科目

<input type="checkbox"/>	LPR205	消費者問題と法	2	
--------------------------	--------	---------	---	--

消費者法分野の基本的な法と、それら法が関係する社会の現実について知り、理解し、調べ、考える力を身につける。

<input type="checkbox"/>	LPS101	日本近現代法史 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS102	日本近現代法史 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS103	法社会学基礎 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS104	法社会学基礎 b	2	

<input type="checkbox"/>	LPS201	憲法 (人権)	2	
<input type="checkbox"/>	LPS202	憲法 (統治機構)	2	
<input type="checkbox"/>	LPS205	民法 (契約法) a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS206	民法 (契約法) b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS207	民法 (不法行為法)	2	
<input type="checkbox"/>	LPS208	民法 (物権法)	2	
<input type="checkbox"/>	LPS209	民法 (家族法)	2	
<input type="checkbox"/>	LPS203	情報と法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS204	情報と法 b	2	

<input type="checkbox"/>	LPS301	民法 (債権担保法)	2	
<input type="checkbox"/>	LPS302	民事手続と法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS303	民事手続と法 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS311	地方自治と法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS312	地方自治と法 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS313	法と経済	2	
<input type="checkbox"/>	LPS316	競争と法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS317	競争と法 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS318	知的財産法 (特許法・著作権法)	2	
<input type="checkbox"/>	LPS314	商取引と法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS315	商取引と法 b	2	

消費者法分野にかかわる様々な法と実体経済の基礎知識を学び、それらが関係する社会の現実について知り、理解し、調べ、考える力を身につける。

<input type="checkbox"/>	LPS233	基本消費者取引法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS234	基本消費者取引法 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS235	商品安全と法	2	
<input type="checkbox"/>	LPS229	企業取引法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS230	企業取引法 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS215	現代行政法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS216	現代行政法 b	2	

<input type="checkbox"/>	LPS327	消費者信用と法	2	
<input type="checkbox"/>	LPS319	投資サービスと法	2	
<input type="checkbox"/>	LPS326	広告・表示と法	2	

■消費者法プログラム

消費者問題は消費者と事業者との格差により生ずるものであり、その内容は時代とともに大きく変遷している。このプログラムでは消費者問題をめぐる現状及び消費者被害の防止と事業者の公正競争市場を確保するための法である消費者法について学ぶ。持続可能な消費生活を目指す消費者市民社会、事業者は公正競争における適正な競争を行うためどうあるべきかも研究する。

環境法 プログラム

教員

[主な科目]

片岡 直樹 教授[国際環境法]

金崎 剛志 准教授[環境規制と法]

<全学共通教育センター所属>

森反 章夫 教授[都市環境論a/b]

※公務員志望者支援プログラムを目指す学生は、公共政策、綜合法、消費者法、環境法、福祉法の教員のゼミを薦めます。

身につける力

1 年次から

2 年次から

3 年次から

プログラム
入門科目

環境問題の解決のために、関係する法と、それら法が関係する社会の現実について、知り、理解し、調べ、考える力を身につける。

<input type="checkbox"/>	LPR206	環境問題と法	2	
--------------------------	--------	--------	---	--

<input type="checkbox"/>	LPS238	被害救済と法	2	
<input type="checkbox"/>	LPS239	環境規制と法	2	
<input type="checkbox"/>	LPS215	現代行政法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS216	現代行政法 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS207	民法（不法行為法）	2	
<input type="checkbox"/>	LPS208	民法（物権法）	2	
<input type="checkbox"/>	LPS236	都市環境論 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS237	都市環境論 b	2	

<input type="checkbox"/>	LPS302	民事手続と法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS303	民事手続と法 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS309	行政救済法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS310	行政救済法 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS311	地方自治と法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS312	地方自治と法 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS313	法と経済	2	
<input type="checkbox"/>	LPS328	国際環境法	2	
<input type="checkbox"/>	LPS329	企業の環境管理	2	

環境問題の法と関係する、他の多様な分野の知識を得て、それらと関係する法知識を活用する力を身につける。

<input type="checkbox"/>	全学共通	NPO論 a	2	
<input type="checkbox"/>	全学共通	NPO論 b	2	
<input type="checkbox"/>	全学共通	環境の科学 a	2	
<input type="checkbox"/>	全学共通	環境の科学 b	2	

<input type="checkbox"/>	LPS213	現代の行政 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS214	現代の行政 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS223	国際社会と法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS224	国際社会と法 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS225	国際開発協力 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS226	国際開発協力 b	2	

<input type="checkbox"/>	LQS309	環境経済学 a	2	
<input type="checkbox"/>	LQS310	環境経済学 b	2	
<input type="checkbox"/>	LQS311	地球環境問題 a	2	
<input type="checkbox"/>	LQS312	地球環境問題 b	2	
<input type="checkbox"/>	LQS313	環境ビジネス a	2	
<input type="checkbox"/>	LQS314	環境ビジネス b	2	

■環境法プログラム

(1) 環境問題は日本のみならず、世界的に解決しなければならない課題である。民間企業は、その生産活動等を環境共生型にすることが求められ、行政の公共事業も同様であり、そこに企業は商機を見いだそうとしている時代である。行政は、国民・住民の権利を保護し、環境問題を解決するために、重要な役割を持つ。このように、将来、どこで働くにしても、環境問題とその解決のための法の役割について、理解しておくことが重要である。

(2) 環境法プログラムは、消費者法プログラム、公共政策プログラム、ビジネス法プログラムとも密接な関係がある。これらのプログラムからも、基本的な科目をとることが望ましい。

福祉法 プログラム

教員

[主な科目]

西下 彰俊 教授……………[福祉調査、応用福祉調査]

橋爪 幸代 准教授……………[児童福祉と法、社会保障と法]

中川 純 教授……………[障害児・者と法]

※公務員志望者支援プログラムを目指す学生は、公共政策、綜合法、消費者法、環境法、福祉法の教員のゼミを薦めます。

身につける力

1年次から

2年次から

3年次から

プログラム
入門科目

福祉分野の法と、それら法が関係する社会の現実について知り、理解し、調べ、考える力を身につける。

<input type="checkbox"/>	LPS105	ジェンダーと法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS106	ジェンダーと法 b	2	
<input type="checkbox"/>	全学共通	福祉論 a	2	
<input type="checkbox"/>	全学共通	福祉論 b	2	
<input type="checkbox"/>	全学共通	NPO論 a	2	
<input type="checkbox"/>	全学共通	NPO論 b	2	

<input type="checkbox"/>	LPR207	福祉問題と法	2	
--------------------------	--------	--------	---	--

<input type="checkbox"/>	LPS240	社会保障と法	2	
<input type="checkbox"/>	LPS241	児童福祉と法	2	
<input type="checkbox"/>	LPS242	障がい児・者と法	2	
<input type="checkbox"/>	LPS243	貧困と法	2	
<input type="checkbox"/>	LPS244	高齢者福祉と法(制度政策)	2	
<input type="checkbox"/>	LPS245	高齢者福祉と法(サービス)	2	
<input type="checkbox"/>	LPS201	憲法(人権)	2	
<input type="checkbox"/>	LPS205	民法(契約法) a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS206	民法(契約法) b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS207	民法(不法行為法)	2	
<input type="checkbox"/>	LPS209	民法(家族法)	2	
<input type="checkbox"/>	LPS233	基本消費者取引法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS234	基本消費者取引法 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS215	現代行政法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS216	現代行政法 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS212	少年法	2	

<input type="checkbox"/>	LPS309	行政救済法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS310	行政救済法 b	2	
<input type="checkbox"/>	LPS311	地方自治と法 a	2	
<input type="checkbox"/>	LPS312	地方自治と法 b	2	

福祉問題と関係する、他の多様な分野の知識を得て、それらと関係する法知識を活用する力を身につける。

<input type="checkbox"/>	LPS246	福祉調査	2	
<input type="checkbox"/>	LPS247	応用福祉調査	2	
<input type="checkbox"/>	LQS213	コミュニティの経済学 a	2	
<input type="checkbox"/>	LQS214	コミュニティの経済学 b	2	
<input type="checkbox"/>	LQS215	ソーシャル・マーケティング論 a	2	
<input type="checkbox"/>	LQS216	ソーシャル・マーケティング論 b	2	

<input type="checkbox"/>	LPS330	社会福祉実践	2	
<input type="checkbox"/>	LQS305	現代の財政 a	2	
<input type="checkbox"/>	LQS306	現代の財政 b	2	
<input type="checkbox"/>	LQS315	社会政策 a	2	
<input type="checkbox"/>	LQS316	社会政策 b	2	
<input type="checkbox"/>	LQS317	コミュニティ福祉論 a	2	
<input type="checkbox"/>	LQS318	コミュニティ福祉論 b	2	

■福祉法プログラム

高齢者介護や保健・医療、年金、働く人々の雇用や失業、貧困問題、あるいは児童の養育等に関わる福祉問題について学ぶ。また、関連する法制度の理解を通して、それらの問題を具体的に解決する能力を身につけるとともに、様々な領域で活躍できる人材を養成することを目的とする。

- (1) 福祉法プログラムは、福祉施設、NPO法人、地方公務員、シンクタンク等福祉関連の職場で働きたいという学生、医療・福祉・保健及び保険等の企業に勤めたい学生、更には人間を対象とするサービス業に従事したい学生を念頭におく。
- (2) 公共政策プログラム、消費者法プログラム、環境法プログラムとの関連も深いことから、それらの基本的な科目も履修することが望ましい。

現代法学部 2つのアドバンスプログラム

現代法学部は、2つのアドバンスプログラムを設定しています。

■「法プロフェッショナルプログラム (TKU/LPP)」

法律専門職への合格を目指す学生、法科大学院への進学を考えている学生、法をより深く学びたい学生のためのアドバンスプログラムです。

- 目指す法律専門職：司法書士、行政書士、裁判所事務官
- 所属時期：2年1期から
- 所属方法：法学検定ベーシック試験に合格し、法プロフェッショナルプログラム生用科目（公法I・II、民法I・II、刑事法I・II）を必ず履修していること。

■「公務員志望者支援プログラム (TKU/POP)」

国家公務員（一般職）、地方公務員（一般行政職）、警察官、消防官への合格を目指す学生のためのアドバンスプログラムです。

- 目指す公務員：1. 国家公務員（一般職）、地方公務員（一般行政職）
2. 警察官、消防官
- 所属時期：2年2期から
- 所属方法：指定された科目の単位を履修中かつ単位取得していること。

申込法法については「履修の手引き」（毎年3月発行）を参照してください。



*アドバンスプログラム 法プロフェッショナル プログラム

※詳細は、説明会で案内します。

目標	1年次から	2年次から	3年次から	
① 法律専門職試験への合格（司法書士、行政書士、裁判所事務官） ② 法科大学院への合格（既修、未修） ③ 法律をより深く学ぶ	<input type="checkbox"/> LNR101 リーガルリテラシー入門 4 <input type="checkbox"/> LNR102 憲法基礎（日本国憲法） 2 <input type="checkbox"/> LNR103 民事法基礎 2 <input type="checkbox"/> LNR104 刑事法基礎 2	<input type="checkbox"/> LPS201 憲法（人権） 2 <input type="checkbox"/> LPS202 憲法（統治機構） 2 <input type="checkbox"/> LPS203 情報と法 a 2 <input type="checkbox"/> LPS204 情報と法 b 2 <input type="checkbox"/> LPS205 民法（契約法） a 2 <input type="checkbox"/> LPS206 民法（契約法） b 2 <input type="checkbox"/> LPS207 民法（不法行為法） 2 <input type="checkbox"/> LPS210 刑法 a 2 <input type="checkbox"/> LPS211 刑法 b 2	<input type="checkbox"/> LPS208 民法（物権法） 2 <input type="checkbox"/> LPS302 民事手続と法 a 2 <input type="checkbox"/> LPS303 民事手続と法 b 2 <input type="checkbox"/> LPS304 刑事手続と法 a 2 <input type="checkbox"/> LPS305 刑事手続と法 b 2 <input type="checkbox"/> LPS309 行政救済法 a 2 <input type="checkbox"/> LPS310 行政救済法 b 2	
	2年～4年 *各期に必ず1,2科目を履修していることが法プロフェッショナルプログラムの継続所属要件です。		<input type="checkbox"/> LWS201 公法 I 2 <input type="checkbox"/> LWS203 公法 II 2 <input type="checkbox"/> LWS204 民事法 I 2 <input type="checkbox"/> LWS205 民事法 II 2 <input type="checkbox"/> LWS206 刑事法 I 2 <input type="checkbox"/> LWS207 刑事法 II 2	

●正課外での学び

1年次	2年次	3年次
[CSC] 法学入門、法学検定（ベーシック講座） ※受講料自己負担	[CSC] 法学検定スタンダード講座 ※受講料大学負担	【学外】専門学校への派遣 ※受講料大学負担
		【学外】法科大学院模擬試験代 ※大学負担

*アドバンスプログラム 公務員志望者支援 プログラム

※詳細は、説明会で案内します。

目標	1年次から	2年次から	3年次から
各種公務員試験への合格	<input type="checkbox"/> LNR101 リーガルリテラシー入門 4	<input type="checkbox"/> LPR202 公共政策論 2	<input type="checkbox"/> LPS309 行政救済法 a 2
	<input type="checkbox"/> LNR102 憲法基礎 (日本国憲法) 2	<input type="checkbox"/> LPR205 消費者問題と法 2	<input type="checkbox"/> LPS310 行政救済法 b 2
	<input type="checkbox"/> LNR103 民法法基礎 2	<input type="checkbox"/> LPR206 環境問題と法 2	<input type="checkbox"/> LPS311 地方自治と法 a 2
	<input type="checkbox"/> LNR104 刑事法基礎 2	<input type="checkbox"/> LPR207 福祉問題と法 2	<input type="checkbox"/> LPS312 地方自治と法 b 2
	<input type="checkbox"/> 全学共通 経済学 4	<input type="checkbox"/> LPS201 憲法 (人権) 2	
		<input type="checkbox"/> LPS202 憲法 (統治機構) 2	
		<input type="checkbox"/> LPS205 民法 (契約法) a 2	
		<input type="checkbox"/> LPS206 民法 (契約法) b 2	
		<input type="checkbox"/> LPS210 刑法 a 2	
		<input type="checkbox"/> LPS211 刑法 b 2	
		<input type="checkbox"/> LPS213 現代の行政 a 2	
		<input type="checkbox"/> LPS214 現代の行政 b 2	
		<input type="checkbox"/> LPS215 現代行政法 a 2	
		<input type="checkbox"/> LPS216 現代行政法 b 2	
		<input type="checkbox"/> LPS221 国際関係論 a 2	
		<input type="checkbox"/> LPS222 国際関係論 b 2	
		<input type="checkbox"/> LPS231 市場の経済学 a 2	
		<input type="checkbox"/> LPS232 市場の経済学 b 2	

●正課外での学び

1年次	2年次	3年次
[CSC] 公務員・民間対策入門講座 ※受講料自己負担	[CSC] 公務員基礎講座 ※受講料大学負担	[CSC] 公務員総合講座 ※受講料大学負担
		[学外] 専門学校への派遣 ※受検料大学負担

1年2期の振り返りシート（9月から翌年3月まで）

記入時期 1年次2期、2月～3月中旬

- コピーを学務課に提出すること
(3月下旬～4月10日まで ※土日祝日を除く)

学籍番号

氏名

忘れないうちに記入しておきましょう

<p>修得単位</p>	<p><1年2期></p> <p>総合教育科目 () 単位</p> <p>現代法学部科目 () 単位</p> <hr/> <p>計 () 単位</p> <p>(GPA:)</p>	<p><通算></p> <p>総合教育科目 () 単位</p> <p>現代法学部科目 () 単位</p> <hr/> <p>計 () 単位</p> <p>(GPA:)</p>
<p>興味を持った科目</p>	<p>1 「 」</p> <p>理由:</p> <hr/> <p>2 「 」</p> <p>理由:</p> <hr/> <p>3 「 」</p> <p>理由:</p>	
<p>「社会・法学入門」の内容、身につけたこと、足りないこと</p> <p>担当</p> <p>先生</p> <hr/>	<p>(見学に行った場所、どのようなゲスト講師が来たか、その内容、提出したレポート、などを通じて振り返りましょう)</p> <p>.....</p>	

4年次1年間と、4年間の振り返りシート

記入時期 4年次2期、2月～3月中旬

- コピーを学務課に提出すること
(3月上旬～卒業式まで)

学籍番号		氏名	
------	--	----	--

忘れないうちに記入しておきましょう

修得単位	<4年次1年間> 総合教育科目 () 単位 現代法学部科目 () 単位 <hr/> 計 () 単位 (GPA:)	<通算> 総合教育科目 () 単位 現代法学部科目 () 単位 <hr/> 計 () 単位 (GPA:)
選択プログラム	総合法 / 公共政策 / ビジネス法 / 消費者法 / 環境法 / 福祉法 (途中でプログラムを変更した人は2つ○をつけること)	
進路	決定 ・ 未決定	
演習、 卒業研究について (テーマ設定、 学んだこと、 考えたこと)	(担当教員名:)	
4年次に特に力を 入れたこと	

●4年間の振り返って

学修について	(DP 1) 幅広い教養 多様な文化、歴史及び自然に関する幅広い教養と外国語を身に付けて、 持続可能な地球社会の形成に主体的に寄与できる能力	達成した ◀.....▶ 達成できなかった 1 2 3 4
学びの達成度評価	(DP 2) 専門知識 現実の社会問題に触れながら、法と政策に関する専門知識を適切に修得し、社会を多角的に考えることができる能力	達成した ◀.....▶ 達成できなかった 1 2 3 4
	(DP 3) 専門知識の活用力 法と政策に関する専門知識と思考方法を活かし、社会における諸問題を発見し、課題の本質を考察して解決に導くことができる実践的能力	達成した ◀.....▶ 達成できなかった 1 2 3 4
	(DP 4) 総合的な判断力と行動力 問題解決に必須の論理的思考とコミュニケーション力に裏付けられた総合的な判断力と行動力	達成した ◀.....▶ 達成できなかった 1 2 3 4

記入時期 4年次2期、2月～3月中旬

●コピーを学務課に提出すること

(3月上旬～卒業式まで ※土日祝日を除く)

<p>達成度を評価した理由、満足度、学修してよかった科目や分野等</p>	<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
<p>課外活動や大学生活全般について</p>	<p>(ボランティア、サークル、旅行、趣味、アルバイト、特技、インターンシップなどについて感想、達成度)</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
<p>自分自身について</p>	<p>(コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、問題発見・解決能力、情報リテラシー、態度・志向性などについて)</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
<p>今後に向けて</p>	<p>(なりたい自分、目標)</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>

現代法学部 現代法学科「卒業要件表」 *科目の後の丸数字は単位数を表す

科目区分	年次・卒業要件		1年次	2年次	3年次	4年次	科目群ごとの卒業必要単位数	自由認定枠
	1年次	2年次	3年次	4年次				
ベーシック科目	英語に関する科目	総合英語セミナーⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ各②	TOEICⅠ・Ⅱ・Ⅲ各①					
	日本語に関する科目	文章表現基礎Ⅰ・Ⅱ各②	日本語表現Ⅰ・Ⅱ各②					
	数的思考に関する科目	文系のための基礎数学Ⅰa②・b②	文系のための基礎数学Ⅱa②・b②					
	コンピュータ科目	必修 選択	コンピュータ・リテラシー入門② コンピュータ・リテラシー応用Ⅰ・Ⅱ各②	情報リテラシー入門②				2単位
語学科目	英語	必修 選択	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ各②		Business EnglishⅠ・Ⅱ各① Academic English① English & Culture①			
	選択語学		英語アドバンスプログラム	Advanced EnglishⅠ・Ⅱ各a①・b①	Advanced EnglishⅢ・Ⅳ各a①・b①			
			ドイツ語 フランス語 スペイン語	イタリア語 中国語 朝鮮・韓国語 日本手話(初級)各②	海外語学研修②			
スポーツ科目		スポーツA・B各①	スポーツC①					
教養講義科目		教養入門② 現代社会の基礎知識②						
		哲学a②・b② 論理学a②・b② 倫理学a②・b② 社会思想a②・b② 現代社会と宗教a②・b② 文化人類学a②・b② 言語学a②・b② カルチュラル・スタディーズa②・b② 生命の科学a②・b② 地球の科学a②・b② 環境の科学a②・b② 自然の構造a②・b② 自然地理学a②・b② 数理解の科学Ⅰa②・b② 数理解の科学Ⅱa②・b② 歴史で知る東京経済大学② 日本史Ⅰa②・b② 日本史Ⅱa②・b② 外国史Ⅰa②・b② 外国史Ⅱa②・b② 人文地理学a②・b② 地誌学a②・b② 世界の地域と文化a②・b② 心理学a②・b② 精神の科学a②・b② 教育学a②・b② 健康の科学a②・b② スポーツの科学a②・b② 芸術学a②・b② 日本文学Ⅰa②・b② 日本文学Ⅱa②・b② 外国文学Ⅰa②・b② 外国文学Ⅱa②・b② メディア表現a②・b② コミュニケーション論a②・b② 異文化コミュニケーションa②・b② 政治学a②・b② 社会学a②・b② 人権論a②・b② 世界政治論a②・b② ジェンダー論a②・b② NPO論a②・b② 情報社会論a②・b② 都市と市民a②・b② 平和学a②・b② 福祉論a②・b② 経済学④ 経営学a②・b②						
教養演習科目		教養ゼミ②	総合教育演習④					
						総合教育研究④		
留学生向けベーシック科目		日本語基礎セミナーⅠa②・b②【履修必修】	日本語基礎セミナーⅡ・Ⅲ各a②・b②					
資格・検定に関する科目		資格・検定A① 資格・検定B① 資格・検定C② 資格・検定D②						

計36単位

科目区分	教育内容		1年次		2年次		3年次		4年次		自由認定枠
	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	7年次	8年次			
現代法学部科目	入門科目	【入門科目】 (*履修必修)	リーガルリテラシー入門④ 憲法基礎(日本国憲法)②	民法法基礎② 刑事法基礎②							
		【演習】	大学入門② *履修必修	社会・法学入門② *履修必修	社会・法学セミナー② *指定履修必修						
	【卒業研究】				基礎演習Ⅰ② *指定履修必修	基礎演習Ⅱ② *指定履修必修	演習④	演習④	演習④ 卒業研究④		
		【入門科目】		総合法プログラム 公共政策プログラム ビジネス法プログラム 消費者法プログラム 環境法プログラム 福祉法プログラム	裁判傍聴演習② 公共政策論② 基本ビジネス法Ⅰ② 基本ビジネス法Ⅱ②						
	【選択科目】		日本近現代法史a②・b② 法社会学基礎a②・b② ジェンダーと法a②・b② 現代社会論a②・b②		憲法(人権)② 憲法(統治機構)② 情報と法a②・b② 民法(契約法)a②・b② 民法(不法行為法)② 民法(物権法)② 民法(家族法)② 刑法a②・b② 少年法② 現代の行政a②・b② 現代行政法a②・b② 現代政治学a②・b② 国際学Ⅰ② 国際関係論a②・b② 国際社会と法a②・b② 国際開発協力a②・b② 会社法a②・b② 企業取引法a②・b② 市場の経済学a②・b② 基本消費者取引法a②・b② 都市環境論a②・b② 社会保障と法② 児童福祉と法② 障がい児・者と法② 福祉調査② 高齢者福祉と法(制度・政策)②						
				国際学Ⅱ② 商品安全と法② 被害救済と法② 環境規制と法② 高齢者福祉と法(サービス)② 貧困と法② 応用福祉調査②		民法(債権担保法)② 民事手続と法a②・b② 刑事手続と法a②・b② 外国の法Ⅰ② 外国の法Ⅱ② 外国の法Ⅲ② 行政救済法a②・b② 地方自治と法a②・b② 法と経済② 商取引と法a②・b② 競争と法a②・b② 知的財産法(特許法・著作権法)② 投資サービスと法② 労働法a②・b② 租税法(個人課税)a②・b② 租税法(企業課税)a②・b② 広告・表示と法② 消費者信用と法② 国際環境法② 企業の環境管理② 社会福祉実践②					
	【関連科目】		簿記原理a②b②		会計学原理a②・b② 企業論a②・b② 流通政策論② 広告論a②・b② リスクマネジメント論a②・b② 広報論② 企業コミュニケーション基礎② ソーシャルメディア論② コミュニティの経済学a②・b② ソーシャル・マーケティング論a②・b②						
		【資格単位認定科目】	法律資格A②								
	キャリア科目		ジェンダーとキャリア形成②		地域インターンシップ②						
						キャリアデザイン基礎②(履修必修) ビジネス・マナー②					
【アドバンスプログラム】	法プロフェッショナルプログラム			公法Ⅰ② 公法Ⅱ② 民法Ⅰ② 民法Ⅱ② 刑事法Ⅰ② 刑事法Ⅱ②							
【アドバンスプログラム】	グローバルキャリアプログラム(*履修必修)			特別演習a② 外国書購読② (選択履修)	特別演習b② スタディ・アップ ロードⅦ~Ⅷ各② 海外インターンシップ④		論文作成④ (選択履修)				
教職課程授業科目		教員免許状取得に必要な「教科に関する科目」のうち、「地理学概論a・b」									
他学部授業科目		履修を許可された他学部の授業科目									
認定科目		「既修得単位認定(1年次)」「編入学者・学士入学単位認定(3年次)」「外国大学取得単位認定(協定校・認定校)」「国内他大学単位互換単位認定」									
卒業必要単位		総合教育科目 36単位 + 現代法学部科目 76単位 + 自由認定枠 12単位									計124単位

計76単位

各科目群の卒業要件超過修得単位

東京経済大学

現代法学部

国分寺キャンパス 〒 185-8502 国分寺市南町 1-7-34 代表 (番号案内) 042-328-7711
学務部学務課 042-328-7755 gakumu@s.tku.ac.jp

学務課窓口業務の案内

成績や履修等に関する相談は学務課で応じます。窓口時間は以下のとおりです。

●【授業期間・補講日・定期試験期間 (予備日を除く)】

平日 8:55 ~ 18:00 (11:30 ~ 12:45 はレポート提出等の限定業務のみ)

土曜日・祝日授業日 8:55 ~ 11:30 / 12:45 ~ 17:00

●【授業休止期間・葵祭による休講日・定期試験予備日】

9:00 ~ 11:30 / 12:45 ~ 17:00

※成績に関すること等の個別相談は、17:00 まで (11:30 ~ 12:45 を除く) をお願いします。

※各種提出書類の受付時間は窓口時間と異なる場合があります。

※夏季および年末年始の大学一斉休務日は窓口業務を休止します。
各年度の一斉休務日は本学 Web サイト等で別途お知らせします。

※年度の途中で窓口時間が変更となる場合があります。
また、入試実施等のため窓口時間が休止または短縮になることがあります。
その場合は別途お知らせします。



ラーニング・ポートフォリオ提出先
→学務課 (6号館1階)

学籍番号

name